

小林 珠実（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本緩和医療学会教育・研修委員会 ELNEC-J コアカリキュラム WG 員，内容（エンドオブライフケアや緩和ケアの教育を行う立場の看護師を対象に，質の高いケアを提供できるように知識・技術を習得するための効果的な教育技法の教授および研修セミナーを担当した）. 2022.8～2024.7.

5 社会貢献

- 1) 川崎市立川崎病院における事例研究指導，内容（2年目の看護師を対象に，自身で設定した研究テーマに基づき研究計画書を作成させ，オンラインによる研究指導を行った）. 2023.6.～2024.1.
- 2) 日本緩和医療学会主催 第28回 ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラム，内容（エンドオブライフケアや緩和ケアの教育を行う立場の看護師を対象に，知識・技術を習得するための効果的な教育技法・教案作成の教授およびモジュール演習についてオンラインによるファシリテーターを務めた）. 2023.9.16. オンライン開催.
- 3) 日本救急看護学会エンドオブライフケア委員会開催 終末期ケアプラクティスセミナー，内容（救急看護に携わる看護師を対象に，講義とグループディスカッション，質疑応答を通して学ぶ救急患者とその家族へのファイナルケアの講演における講師を務めた）. 2023.6.18.オンライン開催.

8 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅰ，成人看護学（急性期）Ⅱ，成人看護学（急性期）実習，統合実習，臨床看護応用演習，卒業研究の科目を担当した.

2) 大学院

がん看護学特論Ⅰ，がん看護学特論Ⅲ，がん看護学特論Ⅳ，がん看護学演習Ⅰ，がん看護学演習Ⅲ，がん看護学実習Ⅰ，がん看護学実習Ⅱ，がん看護学実習Ⅲ，看護課題研究の科目を担当した. 本年度は CNS コースの学生 1 名いたことからがん看護学演習Ⅲを 2 コマ担当し，療養場所や治療変更が生じた事例分析・ロールプレイ演習を取り入れて実施した. 臨床薬理学の科目責任者として，非常勤講師，ゲストスピーカーの担当調整を図りながら科目を担当した.

3) 実践教育センター

2023 年度がん患者支援講座プログラム<講座 4>がんサバイバーとのパートナーシップ ②「がん患者とのコミュニケーション」. 内容（看護師，介護士，理学療法士など医療従事者約 40 名を対象に，がんサバイバーとのかかわりに重要なコミュニケーション技法に関する講義およびブレイクアウトルームを用いて事例演習を実施した）. 2023.10.7.オンライン開催.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科進路支援担当，進路支援ワーキング，2023.4.～2024.3.

昨年度に引き続き、看護学科進路支援担当として、クラス担任と協働し、年間を通じた就職支援活動、採用試験にかかわるエントリーシート添削や模擬面接、小論文添削、進路面接を行った。とくに、6月24日に開始した病院施設説明会では、4年ぶりの対面開催として、3年生を対象に就活に関する動機付けをサポートするための支援の機会を設けた。同年12月19日には看護学科主催で進路ガイダンスを開催した。

進路支援ワーキングでのワーキング長として全学科の進路支援担当をとりまとめ、年5回ワーキング会議を開催し、学科内の情報交換、就職支援状況について調整を行った。

- 2) 内部質保証推進部委員として進路支援ワーキング長が担当した。「点検評価ガイドライン」に基づき、進捗状況を情報交換し、全学科で取り組むべき課題や改善点などを検討し、自己評価報告書を作成し提出した。2023.4.～2024.3.

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 土井英子（研究代表者）、野村美香（研究分担者）、小林珠実（研究分担者）、大場美穂（研究分担者）。視覚化デバイスを用いた化学放射線療法に伴う口腔粘膜炎へのセルフマネジメント支援。学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 50 千円, 2020.4.1～2024.3.31.
- 2) 大場美穂（研究代表者）、土井英子（研究分担者）、野村美香（研究分担者）、小林珠実（研究分担者）。透析患者に対するテーラーメイドケアを目指した非侵襲的な皮膚生理機能評価方法の開発。学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 50 千円, 2021.4.1～2024.3.31.
1年間研究継続のため2025.3.31 終了予定。